

銀座街づくり会議

〒104-0061 東京都中央区銀座4丁目6-1 銀座三和ビル3F

PHONE: 03-3567-1535 ● FAX: 03-3563-0236 ● <http://www.ginza.jp/ga-tpc>

● このNEWSLETTERは、銀座通連合会会員、銀座街づくり会議関係者の方々にお送りしています●

5月21日(月)16時より、銀座街づくり会議の報告会が開催されました。この1年の間に銀座では、地区計画「銀座ルール」が改正され、例外事項をなくして建物の最高高さを56メートルとするほか、屋上工作物の高さ規制などを設けることになりました(ただし、昭和通り東側地区においては「文化の維持・継承に寄与する」大規模開発に限り特例を認められます)。

また、11月には、銀座デザイン協議会が設立されました。以上の改正と仕組みは全国的にも大きな注目を集めていますが、銀座の街として「銀座らしさとは何か」「銀座にふさわしい文化とは何か」を、いっそう話し合い、共有することが求められています。

集まった人数は約190名。みなさんの関心の高さがうかがわれます。

「銀座街づくり会議」:: 報告会

銀座デザインガイドラインづくりに向けて

5月21日現在までに銀座デザイン協議会には46件の案件が寄せられています。銀座街づくり会議では、新しい開発案件が「銀座にふさわしく、銀座の街をよりよくするものであるかどうか」を協議する基準として、「銀座デザインガイドライン」案を検討してきました。

報告会では、まず小林博人さん(慶應義塾大学准教授)から「デザインガイドライン」素案についての報告がありました。銀座デザイン協議会は、中央区市街地開発事業指導要綱に基づき、指定されたまちづくり協議組織です。銀座デザイン協議会の協議は、行政上のプロセスに組み込まれ、中央区との合意書の締結に先立ち、事業者は、協議の概要をまとめた報告書の提出を求められます。街の人たちもこの仕組みに責任をもって対応し、銀座で開発をおこなう銀座内外の事業者との対話を十分におこなわなくてはなりません。一方、規制することで、商業地としての銀座の魅力が損なうことのないよう、また、自分たちの意向を反映したはずの公的なルールが一人歩きをして自らを縛ることのないようにしなければならない。また、銀座らしさを共有しながらも、ガイドラインでその内容を決めてしまうのではなく、その都度、きめ細かな話し合いをしながら一件ずつ判断していくことが大事だというお話がありました。そのため、ガイドラインは銀座を考えるキーコンセプトや街の特徴、通りの特徴、街の課題などが記されたものになっています。

蓑原敬さんからは「銀座は、短期的経済性よりも、歴史の継承や街並みに配慮した長期的な文化性を考えていくルールを選びとり、新しいステージ新しいスタートラインに立った。今後、昭和通り東側地区の文化性をどう育てるかということが課題である」という指摘がありました。

多義的な銀座の魅力を生かすために

後半では、遠藤林徳平議会議長が、デザインガイドラインをつくることの難しさを語り、「明文化によって規制されてしまうのは望ましくないが、銀座らしさを守っていくために何らかの基準になるようなものが必要ということは、皆考えているはず。それを基にして協議しながらすすめるのが大事。これからが難しいところだ。また、昭和通り東側地区に銀座固有の文化を発信するような土壌をつくっていくことを真剣に考えていきたい」と述べました。

三枝進評議員からは歴史をふまえ、「銀座は繁華街であり、時には矛盾する多義性、二面性をはらんでいるのが魅力。そういった矛盾をかかえこみながらさらに新しい矛盾を生み出していくような活力を、失わせないようにデザイン協議であるべきだ」という指摘がありました。

質疑応答では、「銀座で働く人へのアンケートはとったことがあるか」「銀座にとってはオフィスワーカーも大事な存在」という点等が出されました。

今回の報告にあたっては、通り会、町会などへの聞き取りや度重なる協議を行うことで、街の方々の思いや意見を反映しました。また、今後の課題ですが、現在の「銀座ルール」はどちらかという商業用途を優先しています。オフィスについては、銀座には大規模でない、多様でクリエイティブなオフィスが多いのが特徴です。銀座にとって、他の街に次々とできてきているような大型オフィスがふさわしいかどうか今後の課題となります。住宅をどう考えるかという問題もあります。そういったことをひとつひとつ丁寧に見ていかななくてはなりません。

この報告会の記録は現在作成中です。完成はHPでお知らせ致します。

なお、「銀座デザインガイドライン」は未完成ですが、銀座街づくり会議にお問い合わせいただければ、現段階のものをお見せすることができます。